

令和4年度 こども明日花プロジェクト 事業報告

特定非営利活動法人山口せわやきネットワーク

＜この報告書は令和4年度独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業(WAM助成)で実施した事業に関するものです＞

1 経過・内容

「子どもの貧困問題」の解決に向け、2016年5月14日発足式で活動開始を発表した「こども明日花プロジェクト」の活動7事業年度は、2020年2月から続く新型コロナによるコロナ禍3年目で、引き続き、感染対策を講じ、学習会や居場所づくりは活動を行いましたが、第8波等により、こども食堂の通常開催は未だ、実施できませんでした。

コロナ禍に加えて、電気代や食品など物価高騰の影響を受け、家計が厳しいひとり親家庭など子育て家庭を応援する「みんなにエール！弁当」や「ごちそうさまプロジェクト」、さらに、「フードパントリー」なども継続して実施しました。

また、昨年度も、各種の民間助成金を活用し、県内を対象にしたフードパントリーを継続して実施しました。また、休眠預金活用事業の通常枠によるこども食堂ネットワークの強化や、日本財団に助成金により、「子ども第三の居場所・萩拠点」を開設しました。

県委託事業「こども食堂サポート事業」は、4年目となり、コロナ禍で会食は難しいものの、「持ち帰り」から始めるこども食堂が増え続けており、引き続き、開設や運営面のサポートを行いました。また、企業や団体からの食品提供も増えており、県内各地域のコーディネーターと連携して、各地のこども食堂に届けることができました。

また、東京の民間企業から、農業支援と併せて、こども食堂支援の提案があり、kintoneを活用して、使いやすい申請などのシステムを整備し、助成事業を開始しました。

今年5月で活動開始から丸7年となり、コロナ禍など経験し、困窮する家庭と向き合い、事業継続と、一層の内容の充実等の必要性を感じるとともに、こども家庭庁発足により、「こどもまんなか社会」実現を目指して、行政も企業、地域が一体となって、取組を進める中、当プロジェクトがこれまでの実績とネットワークをもとに、取組の加速化、強化をリードする立場として役割を果たすとともに、事業の言語化と丁寧なコミュニケーションにより、理解と支援を広げ、活動の充実強化を図ってまいります。

○プロジェクト名 「こども明日花プロジェクト」

○ビジョン

どんな環境に生まれ育っても、子どもが明日(あす)に希望を持てる社会を実現する

○ミッション

1. 子どもたちが安心して過ごせる居場所と学びの環境を提供し、自立を支援する
2. 身近な大人が子どもたちを見守り、受け止める地域をつくる
3. 生活困窮など困難を抱える家庭が地域で孤立しないよう見守り、支える

○事業内容

- ・「学習支援」無料学習会（食事付き）、リモート学習会
- ・「生活支援」食事支援（こども食堂）、フードパントリー（食品配布）
- ・「居場所づくり」課題を抱える子どもたちが安心できる居場所づくり
- ・普及啓発・人材育成、地域の包括支援の体制づくり
- ・生活困窮家庭を支える食料等の提供など

2 事業内容

(1) 学習支援

① 無料学習会

毎週土曜日、午前中、主にひとり親世帯や就学援助対象世帯などの中学生を対象に無料学習会（昼食付）を山口市内5カ所+1カ所（阿知須：食事なし）で実施。

会場	期間	回数	延べ参加者数	ボランティア		
				学習	調理	合計
湯田	2022.4～2023.3	44回	247人	108人	110人	218人
平川	2022.4～2023.3	33回	112人	45人	62人	107人
小郡	2022.4～2023.3	50回	366人	83人	0人	83人
大内	2022.4～2023.3	33回	148人	71人	56人	127人
宮野	2022.4～2023.3	28回	144人	72人	12人	84人
阿知須	2022.4～2023.3	48回	9人	※学習教室スマイルと合同		
	計	236回	1,026人	379人	240人	619人

※阿知須は2022年4月から地元団体と合同実施。

※大内会場は、土曜午後は部活等で参加しにくいとの意見があり、9月15日から木曜夕方に変更（夕食準備）し、参加者も増加した。

② 施設への派遣（児童養護施設）

入所している児童・生徒の学習補助ボランティアを派遣してきたが、新型コロナウイルス感染拡大以降、中止中。

派遣先	期間	回数	学習ボランティア	備考
吉敷愛児園	—	一回	—人	その他送迎ボランティア

③ リモート学習会

家が遠いなどの理由で学習会に参加できない中学3年生にタブレットと無線ルーター（必要な家庭）を貸し出し、毎週木曜19～21時、ボランティアによるリモート学習会を実施（参加者5人、4月15日から3月2日まで、のべ37回152人参加）。

(2) 居場所づくり事業（山口市委託事業）

主にひとり親世帯の子どもを対象とした「子どもの生活・学習支援事業（上記の学習支援の一部を含む）」を受託、毎週土曜（午後3～7時）、小中学生への学習支援と食事支援（夕食）実施。 ※感染対策を取り、ほぼ実施した。

会場	期間	回数	延べ参加者数	ボランティア		
				学習	調理	合計
湯田	2022.4～2023.3	47回	344人	232人	94人	326人

※「美川ムーンバレー・バスツアー」2022年10月8日（土）

様々な「体験」の場を提供するため、毎年、海や山などにバスツアーを実施しており、今年は「美川ムーンバレー」で探検など行った。参加は35人。

※「新入学記念品」プレゼント

学習支援・居場所づくりに参加の子どもたちや、市内の主任児童委員などから

寄せられた情報に基づき、小学校 31 人、中学校 33 人、高校 43 人に記念品贈呈。

(3) 子どもの見守り強化事業（山口市委託事業）

コロナ禍にあって、孤立・困窮する子育て家庭等を弁当配布等で支えた全国のこども食堂などの活動が評価され、2020 年度国の第 3 次補正予算で「こども食堂等が要保護児童対策地域協議会の支援家庭を訪問、状況把握や食事提供（弁当）など」を行う「見守り強化事業」が開始。山口市は 2020 年 10 月から始まり、当法人も委託を受け、各地域の見守り支援員の方々に協力いただき、見守りと弁当配布等に取り組んだ。

(4) ひとり親家庭への支援（シングルカフェ）

ひとり親家庭の保護者グループ style（ドットスタイル）との共催で、当事者同士が支援に関する情報共有や意見交換を行ってきたが、コロナ禍が続く中、フードバンク山口などが主催する子育て家庭などへのフードパントリーなどと連携して実施した。

① 12 月 10 日(土)10～12 時 下関市 80 人フードバンク山口主催フードパントリー

② 12 月 11 日(日)14～16 時 長門市 50 人 同上

③ 12 月 18 日(日)14～16 時 岩国市 70 人 同上

④ 1 月 21 日(土)14～16 時 萩市「わくわくベース」40 人萩ほっとパントリー

⑤ 3 月 26 日(日)10～14 時 山口市「さぼらんて」50 人 学用品・パンなど配布会

※「サンタのケーキ便」

コロナ禍のひとり親家庭支援をきっかけに、県内各地に店舗のある「果子乃季（あさひ製菓株）」の協力を得て、2020 年 12 月から毎年、開催。2020 年 150 家庭、2021 年 200 個、2022 年は 300 個を目指してクラウドファンディングを実施、達成した。

(5) 情報発信

① フェイスブック 2016 年 4 月開設

② ホームページ 2017 年 1 月開設、ブログ掲載

③ ニュースレター（年 3 回）令和 4 年春、夏・秋、令和 5 年新年

④ 地域情報新聞ほっふ 2016 年 2 月から、年間数回程度、告知記事を無料掲載

⑤ 令和 3 年度活動報告（一）

(6) 報道

①新聞

6 月 18 日（土）山口新聞「子ども第三の居場所・萩拠点 開所式」

7 月 20 日（水）中国新聞「キッチンカーで子どもに食事を（松風館高校）」

7 月 23 日（土）山口新聞「キッチンカーで食事支援（松風館高校）」

10 月 15 日（土）朝日新聞「Waku②BASE 藤井航平マネージャー」

12 月 30 日（金）読売新聞「年越しパントリー（12 月 29 日）」

2 月 27 日（月）読売新聞「貧困家庭 地域で支える（特集記事）」

3 月 29 日（水）宇部日報「こども食堂推進会議」（県庁）

②テレビ

6 月 17 日（金）「子ども第三の居場所・萩拠点 開所式」NHK 山口放送局

8 月 8 日（月）「アオハルパントリー」（小郡図書館前）KRY 山口放送

8 月 19 日（金）「アオハルパントリー」（山口市中央公園）YAB 山口朝日放送

8 月 24 日（水）「アオハルパントリー（山口市中央公園）」TYS テレビ山口

3月28日(火)「こども食堂推進会議」(県庁)TYSテレビ山口

(7) 普及啓発

①地域円卓会議

コロナ禍での開催が難しく、前年に続き、開催は見送った。

②「山口こども応援ミーティング 2022+」(2022年11月23日)

2023年4月「こども家庭庁」設置や「こども基本法」施行に向け、児童福祉が専門で、岡山県の子ども支援団体のネットワーク代表である、川崎医療福祉大学(倉敷市)講師の直島克樹先生にこども家庭庁などに関わる、今後のこどもへの施策や現場で求められる活動などについてお話しいただいた。また、後半は「こども食堂情報交換会」として、コロナ禍で子育て家庭などの支援に取り組む3つのこども食堂の取組事例を紹介後、今後の役割等について意見交換を行った。

日時・場所：2022年11月23日(水・祝)13:30~16:30

場所・方法：パルトピアやまぐち(防長青年館)とオンライン併用

内容：第1部 基調講演「子どもの貧困問題、こども家庭庁、こども食堂」

講師：川崎医療福祉大学 講師 直島克樹

第2部 こども食堂意見交換会

1 事例紹介：①ながとルンルン食堂(長門市)

②NPO法人とりで(岩国市)

③キッズラップ(宇部市)

2 意見交換(基調講演講師と事例発表者①~③など)

参加者：40人オンライン含む(行政、社協等関係団体、こども食堂、一般)

③キッチンカー出動(こども食堂の情報発信)

2021年3月、JT助成金により購入したキッチンカーが各種イベント等への出店を通じ、こども食堂に対するイメージアップ、情報発信を行った。

・田んぼラグビー：5月21日(土)吉敷地域交流センター

・子ども第三の居場所・萩拠点 プレオープン：6月12日(日)萩市明倫学舎

・松風館高校：7月20日(水)ホットドック、11月4日(金)豚汁、3月17日(金)カレーライス

・アオハルパントリー(パン配布)：8月4日(木)小郡図書館前、8月9日(火)山口市中央公園

・山口矯正展(山口刑務所主催)パン配布：11月5日(土)防府市武道館

・カウントダウンイベント(山口県南中経協主催)カレーライス：12月31日(土)宇部市港町埠頭

(8) 人材育成

社会的課題に取り組む「若き担い手(ヤングワーカー)」を育成するため、問題解決に必要な専門的知識を得るために、活動団体訪問や専門家による講演と意見交換を通じて、自ら考え、行動する人材を育成する「あすはなカレッジ」を開催した。今回は久しぶりに、団体訪問を実施でき、オンラインと併せて、大学生を中心に17人参加した。

①専門家と意見交換：12月2日(金)夜(オンライン)

講師：NPO法人こどもソーシャルワークセンター理事長 幸重忠孝さん

参加者：学生ボランティア、一般 11人

②団体訪問：12月8日(木)終日

訪問先：(一社)子どもソーシャルワークセンターつばさ(倉敷市)

内容：活動内容の紹介と意見交換、倉敷駅前での活動参加（おむすび配付）

参加者：スタッフ2人、学生ボランティア4人

(9) こども食堂・地域食堂プロジェクト

○こども食堂

2018年度山口市のふるさと納税を活用したクラウドファンディング事業により、2018年12月から山口市内3地域でこども食堂開設、運営している。

2020年3月以降、コロナ禍で通常開催（会食）ができなくなり、休止、あるいは弁当配布やパントリーに切り替えて実施した。

- ① 大内みんな元気食堂（計9回） 大内地域交流センター 弁当配布
- ② 小郡みんな食堂（計12回） 小郡ふれあいセンター 弁当配布
- ③ えがお食堂よしき（休止） 吉敷地域交流センター 代替としてエール弁当

<開催状況> ※参加無料、弁当配布は事前申込制

地域	開催回数	献立	利用者数	ボランティア	合計
大内	9回	大内地域交流センター	806人	90人	896人
小郡	12回	小郡ふれあいセンター	1,719人	150人	1,969人
吉敷	0回	吉敷地域交流センター	—人	—人	—人
合計	21回		1,946人	145人	2,091人
※吉敷	12回	エール弁当(吉敷地域交流センター)	2,547人	45人	—人

○小郡中・宮野中「学校朝ごはん」

「朝食を食べてこない」生徒に、ボランティアによる「学校朝ごはん」は小郡中学校長の理解と協力により、2019年6月から毎週水曜日に実施したが、新型コロナ以降、感染状況により、実施と再開を繰り返し、2022年1月から2023年3月現在、休止中。2020年7月に開始した宮野中学校も、2022年1月以降、休止している。

○新型コロナ緊急支援（詳細は別途記載）

コロナ禍3年目も、収入減少等で困窮するひとり親家庭など子育て家庭に対する「フードパントリー（食品配布）」3,163件、ひとり親家庭対象の「みんなにエール！ 弁当（のべ5,724食）」、「ごちそうさまプロジェクト（678家庭）」も継続実施した。

(10) こども食堂サポート事業（山口県委託事業）

こども食堂が地域の子どもたちの居場所としての役割を果たし、また地域において多世代が交流する機能を持つ「こども食堂」について、県は普及促進に取り組み、知事名による「こども食堂応援宣言」の下、「2021年度末に100カ所」にすることを掲げて、2019年度から開始した「こども食堂サポート事業」を受託し、「山口県こども食堂支援センター」として、こども食堂の運営や開設について中間支援に取り組んでいる。

コロナ禍で、通常開催（会食）ができず、半分近くが休止する一方で、弁当配布やフードパントリーなどで、地域の子育て家庭を支援するこども食堂もあり、さらにコロナ禍でも、新規開設のこども食堂も多く、県内では160カ所を超えた。支援センターとして感染症対策の研修、助成金情報提供、寄贈食品等の配布など活動を支援した。

- ① 開設セミナー：当初予定どおり、増員したコーディネーターの地域ごと、7か所で開催し、合計127人が参加した。

- ② 推進会議：関係機関が子ども食堂に関する情報共有を図り、協力して普及促進を目指す「県子ども食堂推進会議」は、1回（3月28日）開催。
- ③ ボランティア説明会：主に大学生向けの説明会として、3回実施した（12月13日萩市（至誠館大学）40人、12月13日山口市10人、2月3日防府市13人）。
- ④ 啓発セミナー：あまり普及が進んでいない地域での啓発を図るため、「子ども食堂」を始めた近藤博子さんを招き、12月9日岩国市37人、12月10日萩市28人で実施。

（11）山口県子ども食堂・子どもの居場所ネットワーク（事務局）

① 県内企業・団体等からの食料品等寄付の受入

J A山口県から県内子ども食堂にお米6トン寄付、山口県酪農協同組合から牛乳、山口県パン工業協同組合からパンなど食品等を受け入れ、県内の子ども食堂に配布した。また、大和証券（周南支店、下関支店）やエニイタイムフィットネス、生命保険協会山口県協会から寄付金を受領した。

② スキルアップ事業（県子ども子育て応援ファンド助成金「子ども食堂特別枠」）

5月26日（木）食品衛生講習会（講師：山口県生活衛生課）33人

10月2日（日）食から考える防災（講師：空みずきの会 坂本京子さん）19人

11月19日（土）感染症対策講習会（講師：山口赤十字病院 門屋亮医師）オンライン

③ 食品支援事業（全国子ども食堂支援センター・むすびえ「子ども食堂基金」、休眠預金活用事業2021通常枠 助成金活用）

ア 県下一斉フードパントリー（2022年7月）※子ども食堂基金事業

夏休みの食支援を目的に県内20カ所1,150家庭に食品と米を配布。

イ フードパントリー・フォローアップ（2022年11～12月）※休眠預金事業

県内25カ所の子ども食堂がのべ950家庭に食品とJ A寄付の新米を配布。

ウ お寺でパントリー（2023年3月）※休眠預金事業

県内9地区でお寺の協力（会場）を得て、270家庭に食品を配布。

④ 安心安全助成 ※休眠預金事業

食品衛生責任者養成講習会受講料、保険料を助成 24件

⑤ 子ども食堂・農業支援事業（BellAgri(株)からの寄付金）

子ども食堂がJ A直売所等で購入した食品代金を助成。2022年度大和証券助成金により整備したkintoneのシステムによる申請システムにより、子ども食堂の申請手続きを簡素化した。

⑥ 県ネットワークのホームページ開設

県ネットワークや子ども食堂に関する情報発信とともに、企業や個人等からの寄付（資金や物資）、ボランティア受入等の受け皿となるホームページを開設した。

（13）新型コロナ対策

各種民間助成金等を利用し、主にひとり親家庭や学生に対する支援を行った。

① みんなにエール！弁当

コロナ禍で、収入減少など困窮するひとり親家庭を応援する「みんなにエール！弁当」は2020年5月山口市でスタートし、その後、他市でも実施し、萩市、美祢市、光市、下松市の4市では各市担当者や社協職員の協力を得て、継続実施した。山口市内がのべ24回4,156食、4市で8回1,518個、合計32回5,674食配布。

なお、弁当は県飲食業生活衛生同業組合の協力を得て、地元の料飲組合が紹介した飲食店等に注文し、お米はJA山口県山口統括本部で購入し配布した。

②ごちそうさまプロジェクト

ひとり親家庭の「食」支援として、「宅食（食料品の託送）」「食事券（地元料飲組合の協力）」「買物券（丸久）」「お米（県産新米を配達）」を直接、各家庭に届けることとし、丸久、県飲食業生活衛生同業組合、JA山口県の協力の下、実施した。

7月から8月まで3回、募集し、結局、申込のあった全678家庭に届けた。

② フードパントリー

昨年に続き、コロナ禍の子育て家庭を支援するため、7月、県内各地域のこども食堂と連携した「県下一斉フードパントリー」実施(20カ所、1,150家庭)、11月から「フォローアップパントリー」として、こども食堂25カ所が900家庭に配布。

山口市では、2021年11月から継続して、毎月、主にひとり親家庭約50家庭に定期パントリーを実施(のべ493家庭)。なお、事務所内に常設パントリーを設置。

④学生パントリー

バイトや仕送り減少で困窮する大学生へのパントリーについて、昨年度に続き、山口大と山口県立大で実施。山口大では、大学基金が共催(費用半分負担)し、本部・医学部・工学部でのべ3回実施(400人)、県立大は100人に配布した。

(14) 子ども第三の居場所・菽拠点

①事業概要

菽市が菽明倫学舎内に「学びと交流の拠点」を公募するにあたり、山口市内での学習支援や居場所づくりのノウハウを生かして、地元の行政や関係機関、団体等を連携して、拠点づくりを行うに際し、日本財団が全国500か所を目指して、推進する「子ども第三の居場所」助成事業に申請・採択(コミュニティモデル)された。

・開所日：2022年6月17日(金)

・事業内容：
・コミュニティカフェ(誰でも使えるカフェ、子どもの居場所)
・シェアキャンパス(中高生との自由学習スペース)
・昼食付き勉強会(毎週土曜実施)
・こども食堂(毎月1回実施、1回80食程度)

・運営体制：センター長(非常勤)、マネージャー、スタッフ、調理ボランティア
学習支援ボランティア(大学生など)

・支援体制：運営サポート委員会(行政、関係機関、団体等で構成。年4回程度)

・利用実績：利用のべ人数3,259人(子ども1,995人、大人1,264人)16.6人/日
こども食堂 11回開催、のべ570食(196家庭)
勉強会 25回開催、のべ143人
各種イベント：26回実施、のべ583人参加
ほっとパントリー(ひとり親家庭対象)2023年1~3月のべ110家庭
運営サポート委員会(委員9人、3回開催)
大人の学習会(至誠館大学協力による関係者の勉強会)3回

(15) 資金調達

- ① 助成金等申請
- ・福祉医療機構「令和4年度（補正予算）WAM助成」＜1年目・採択＞
 - ・山口県共同募金会（赤い羽根テーマ募金：7期）＜採択＞
 - ・日本財団子ども第三の居場所助成金（萩明倫学舎 2年目運営費・車両）＜採択＞
 - ・休眠預金活用事業通常枠（むすびえ）3年間＜2年目 採択＞
 - ・中央共同募金会（学習支援と生活支援事業）＜採択＞
 - ・厚生労働省「ひとり親家庭等食事支援事業」助成金＜採択＞こども宅食応援団

【新型コロナ対策】

- ・山口県共同募金会緊急支援（アオハルパントリー）30万円
- ②子どもの未来応援企業（3社）
- 2016年（株）池田建設、サン・ロード（株）
- 2017年（株）TAMARU
- ③募金箱（50ヶ所）
- ④寄附付自動販売機（4台） ※協力：日本コカコーラ・ウエスト（株）
- 2016年 サン・ロード（株）、防長苑
- 2017年 マツダ防府工場、山口ザビエル記念聖堂

〔参考〕主な活動

- 2022年 4月15日 ひとり親家庭支援「みんなにエール！弁当（吉敷）」2022年度開始
「子ども第三の居場所・萩拠点」開設に向け地元ワークショップ開催
- 4月17日 小郡みんな食堂・大内みんな元気食堂 2022年度開始（持ち帰り）
「定期パントリー（平川地域交流センター）」2022年度開始
- 4月18日 山口県共同募金会「テーマ募金」助成金交付式
- 5月 7日 キッチンカー納車（JT日本たばこ産業(株)助成金事業）
- 5月13日 山口南ロータリークラブ例会「卓話（こども食堂）」
- 6月12日 日本財団・子ども第三の居場所・萩拠点 プレオープン
- 6月17日 // Waku②BASE 開所式
- 6月21日 萩市民生委員児童委員協議会児童福祉部会で萩拠点紹介（福祉センター）
- 6月24日 萩拠点 萩ミート(株)お肉寄付贈呈式（萩市明倫学舎）
- 6月25日 萩拠点「こども食堂」スタート
- 7月 3日 しんぐるまざーず・ふぉーらむ全国大会で説明（維新ホール）
- 7月 8日 萩拠点 第1回運営サポート委員会開催（9月22日、1月26日）
「ごちそうさまプロジェクトプラス」募集開始（7月22日、8月5日）
- 7月12日 山口県議会環境福祉委員会視察「小郡みんな食堂」（ふれあいセンター）
- 7月14日 大和証券グループ（周南・下関支店）県ネットワーク寄付金贈呈式
- 7月20日 県立松風館高校にキッチンカー出動（ホットドック100本）
- 7月23日～31日「県下一斉フードパントリー」実施（20か所1,150家庭）
- 7月26日 萩拠点「夏休み体験イベント」開始（8月26日まで12回）
- 7月29日「こども食堂開設セミナー(県庁)」、以後、全9カ所で開催
- 8月 4日 高校生等「アオハル・パントリー」（山口市立小郡図書館）取材

- 8月 9日 // 「アオハル・パントリー」(山口市中央公園) 取材
- 8月18日 萩拠点「コープ葬祭」米保冷庫 寄付贈呈式
- 8月18日・25日「みんなにエール! 弁当 in 萩」実施
- 8月28日 日本テレビ(山口放送) 24時間テレビイベント協力(防府イオン)
- 9月10日 萩拠点 学習会開始(毎週土曜・昼食付き)
- 9月11日 東京シティバレエ団公演招待(シンフォニア岩国) むすびえ協力
- 9月15日 大内学習会 土曜昼から、金曜夕方に変更(大内地域交流センター)
- 9月28日 明治安田生命山口支社 寄付金に対して感謝状贈呈
セフティワン(有)寄付金に対して感謝状贈呈
- 9月30日「みんなにエール! 弁当 in 美祿市」(市内3カ所) 2回目 3月24日
- 10月 1日 こども食堂地域コーディネーター研修会(維新ホール)
- 10月 2日 こども食堂ファンドレイジング研修会(萩市明倫学舎 Waku②BASE)
- 10月 8日 美川ムーンバレー・バスツアー
- 10月13日 やまぐち子育て連盟総会「こども明日花プロジェクト」事例紹介
- 10月30日~12月18日フォローアップパントリー(こども食堂22か所750家庭)
- 11月 4日 松風館高校文化祭「キッチンカー」豚汁提供
- 11月 5日 山口刑務所主催「山口矯正展」キッチンカー(パン配布)防府市武道館
- 11月11日・12月9日「みんなにエール! 弁当 in 下松市」
- 11月22日・12月16日「みんなにエール! 弁当 in 光市」
- 11月23日 こども応援ミーティング&こども食堂情報交換会(防長青年館)
- 11月26日 萩拠点「新米を食する会」(協力:JA山口県萩統括本部・井上商店・村田蒲鉾)
- 11月28日 県ネットワーク エニイタイムフィットネス寄付贈呈式(山口市)
- 11月29日 佐賀県「さがこども応援プロジェクト」研修会講師(佐賀市)
- 11月30日 山口大学でフードパントリー開催(本部、1日工学部、2日医学部)
- 12月 2日「サンタのケーキ便」受付開始(県内300家庭に抽選)クラフトファンディング
- 12月 2日 あすはなカレッジ「こどもソーシャルワークセンター 幸重忠孝理事長」(オンライン)
- 12月 2日 こども食堂「伴走支援」研修会(周南市役所・ちるちあネット)
- 12月 3日 遺贈寄付セミナー(さぼらんて)
- 12月 8日 あすはなカレッジ「こどもソーシャルワークセンターつばさ」(倉敷市)
- 12月 8日 こども食堂啓発セミナー「だんだん近藤博子さん」(岩国市)
- 12月 9日 // // (萩市明倫学舎)
- 12月13日 ボランティア説明会(至誠館学生:萩市)他山口市・防府市
- 12月19日 「赤い羽根テーマ型募金」活動団体認定式(山口県共同募金会)
- 12月22日 JA山口県から県内各こども食堂にお米6トン寄付贈呈式(JA)
- 12月29日 年越しパントリー(200家庭)+お節セット(誠和寄付100セット)
- 2023年 1月 「赤い羽根テーマ型募金(2022年度)」募集開始(~3月末)
- 1月21日 萩拠点「萩ほっとパントリー(ひとり親家庭40)」2月・3月
- 1月27日 山口県立大学でフードパントリー開催(100セット)
- 1月29日 中国地方こども食堂ネットワーク会議(オンライン参加)松江市
- 2月 4日 全国こども食堂支援センターむすびえ「全国交流会」(オンライン)

2月25日～3月5日 「お寺でパントリー」(県内9地区のお寺で270セット)
 3月2日 熊本県こども食堂ネットワーク研修会 講師(熊本市)
 3月9日～10日 休眠預金2021通常枠 実行団体研修会(5団体)引受
 3月16日 山口県社協「地域福祉推進研修会」講師(オンライン)
 3月17日 松風館高校「キッチンカー」カレーライス100食
 3月28日 第6回こども食堂推進会議(受託事業、県庁)

<会議・講演等> 35回 945人

時期	対象・名称	場所	人数
2022.5.13	山口南ロータリークラブ例会 卓話「こども食堂」	ホテルニュータナカ	30人
6.21	萩市民生委員児童委員協議会児童福祉部会 説明	萩市総合福祉センター	30人
7.3	しんぐるまざあずふおーらむ全国大会 報告	維新ホール	50人
7.8	萩拠点 第1回運営サポート委員会(全3回)	萩拠点 Waku@BASE	26人
7.12	山口県議会環境福祉委員会 視察 説明	小郡みんな食堂(ふれあいセンター)	20人
7.29	こども食堂開設セミナー(全7回)	県庁共用会議室	60人
7.14	こども食堂 ボランティア説明会(全2回)	オンライン	25人
10.1	こども食堂コーディネーター研修会	維新ホール	10人
10.2	こども食堂ファンドレイジング研修会	萩拠点 Waku@BASE	10人
10.13	やまぐち子育て連盟総会 事例紹介	防長苑	50人
11.23	こども応援ミーティング&こども食堂情報交換会	パルトピアやまぐち防長青年館	50人
11.29	さがこどもプロジェクト 研修会講師	佐賀市	70人
12.2	こども食堂「伴走支援」研修会	周南市役所(ちるちあネット)	40人
12.2	あすはなカレッジ「幸重忠孝さん」(大津市)	オンライン	12人
12.3	遺贈寄付セミナー	さぼらんて	20人
12.8	こども食堂啓発セミナー「近藤博子さん」	岩国市・12/9 萩市	80人
12.8	あすはなカレッジ 活動団体訪問 「こどもソーシャルワークセンター-つばさ」	倉敷市	6人
12.13	こども食堂 ボランティア説明会(全3回)	萩市至誠館大学・山口・防府	65人
1.29	中国地方こども食堂ネットワーク会議	オンライン	15人
2.4	全国こども食堂支援センターむすびえ全国交流会	オンライン	150人
3.2	熊本県こども食堂ネットワーク研修会講師	熊本市	10人
3.9～10	休眠預金通常枠2021 むすびえ「実行団体(5団体)研修会」引受	なのはなハウス	25人
3.16	山口県社協「地域福祉推進研修会」講師	オンライン	80人
3.28	県こども食堂推進会議	山口市(県庁)	25人